

教科	・児童の課題○重点目標	具体的な授業改善策
国語	・ひらがなや漢字の書き順に課題がある。 ・文章を書く力が弱い。 ・促音、拗音を理解し、的確に文章を書けないことがある。 ○話の内容を理解できるくらいの聞く力、相手に伝えたいことを話す力を付けることを重点目標とする。	・漢字学習を行う際、何度も書き順の練習をさせる。漢字の成り立ちや意味についても触れながら理解を深める。 ・観察文や定型の書き方を確認しながら文章を書くことができるようにする。 ・書いたものを読み返して正しい文章にするなど、推敲の仕方を指導する。 ・声の大きさや速さに気を付けた話し方、姿勢、目線を意識し、話の大事なことを押えられる聞き方を身に付けさせる。（学び方の定着）
算数	・繰り上がり、繰り下がりの筆算の加法や減法の計算力をより伸ばし、加法、減法についての理解を深める必要がある。 ・長さや量の単位を苦手としている児童もいる。 ○計算問題を速く正確に解くこと、文章を読み取って立式することを重点目標とする。	・各位を確認しながら、筆算の手順を確認していく。 ・実際に1Lますなどを使用して、量を体験させることで理解させる。 ・朝学習の時間や、すきま時間に、クロームブックのアプリを活用して、自分に合ったドリル学習に取り組みさせるだけでなく、宿題のドリルノートなどの問題集を活用する。 ・文章問題で、分かっていること、聞かれていることに線を引き、文章問題を正しく読み取り立式する力を付ける。
生活	・目的をもって、地域の自然や人と進んで関われるようにする。 ○具体的な活動や体験を通して、自分の思いや考えを適切な方法で表現できることを目標とする。	・自分たちが「もっと知りたい」「なぜだろう」という気持ちを大切に、学習を進めていく。 ・町探検や仕事場訪問（お店訪問）を行い、地域と関わる活動を取り入れる。 ・異学年との交流活動を計画し、様々な立場の人と関わる場を設ける。 ・活動を通じて得た自分の考えを、ペアやグループで交流する機会を設け、気付きの質を高める。
音楽	・音の高さを感じ取れず、正しい音程で歌えない児童がいる。 ・精一杯声を出して歌おうとしているが、必要以上に大きな声で歌ってしまい怒鳴り声に近い声で歌う児童が一定数いる。 ○音の高さに気を付けたり、発声方法を習得したりして美しい歌声で歌唱することを重点目標とする。	・鍵盤ハーモニカを演奏する前に、必ず階名唱を取り入れ、音の高さを覚える。 ・階名唱をする際に、音の高さを体で表現する活動を取り入れる。 ・美しい歌声を出すために範唱を聴き、声真似して歌う活動を取り入れたり、自分たちの演奏を録画して範唱と聴き比べたりする活動を行い、美しい歌声に近づけるようにする。

図工	積極的に教材に関わり、楽しんで活動に取り組んでいる。一方で、苦手意識や不安があり、手が動かない児童がいる。 ○造形遊びを通して、自らの感覚を働かせて表し方を工夫したり、見方を広げたりすることを重点目標とする。	- 導入時に映像資料を取り入れて、活動の見通しを立てたり、意欲を高めたりしやすくする。 - ICT を活用して、必要な資料や、友達の作品などをいつでも見られる環境にして、安心して活動に参加できるようにする。 - 表現を試行錯誤する時間を設定し、苦手意識や不安を解消することで積極的に活動に取り組めるようにする。
体育	元気よく運動を楽しむことができる児童が多いが、遊びなどのルールを理解することができない児童がいる。 ○友達と一緒に運動をすることの楽しさを味わい、主体的に学習しようとする意欲をもたせることを重点目標とする。	- どの子も運動に取り組みやすいように、理解しやすいルールにする。また、スモールステップで課題を提示したり、場の設定を工夫したりすることで意欲的に楽しく学習できるようにする。 - 友達と見合い、アドバイスをしながら取り組める時間を設ける。

※ なお、各教科において、端末は対話的な学びや記録の蓄積等に常時生かすようにする。